

平成22年度第2回松山地域協議会会議録（概要）

日 時 平成22年7月29日（木） 午前9時25分～午後12時25分

場 所 松嶺コミュニティセンター 集会室

出席委員 15名

1号委員 齋藤 勝 佐藤 ゆき子 佐藤 旭 今田 充代 阿部 茂
新館壽美子 長堀 俊一 遠田 聡 小田 和夫 遠藤 俊三
佐々木 亨 佐藤 修

2号委員 土田 迪子

3号委員 佐藤 洋子 木村 美津枝

酒田市出席者

松山総合支所長 太田 豊 地域振興課長 秋葉 弘毅
建設産業課長 難波 富也 市民福祉課長 久松 正一
地域振興課補佐 後藤 晃 地域振興課調整主任 石川 春市
同主任 佐藤 清彦 同主任 鈴木 陽子

傍聴者 4名

議事日程

1 開 会

2 あいさつ

3 会議録署名委員の選出

4 協 議

- (1) 松山地区過疎計画（支所素案）について
- (2) 松山地区デマンドタクシー事業（案）について
- (3) その他

5 そ の 他

6 閉 会

【議 事】

1 開 会・・・地域振興課長

2 あいさつ

【地域協議会会長】

本日は、第1回地域協議会で話題になりました松山地区過疎計画について、支所の素案ができましたので、この案を中心に協議を進めたいと思います。本日は梅雨模様の天気ですが皆さんからはカラッとした意見をお願いしたいと思います。

3 議事録署名委員の選出

地域振興課長 申し合わせ事項により、今回は長堀俊一委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員 異議なし。

4 協 議

(1) 松山地区過疎計画（支所素案）について

地域振興課長が資料1に基づき説明を行う。

【説明概要】

資料についてはあくまでも現時点における松山総合支所の素案であります。

はじめに概略を申し上げます。前過疎計画には97の事業計画がありました。事業の統廃合もあり、このうち、完了及び継続事業が60事業で、未着手事業が32事業となっております。未着手事業のうち25事業については素案に引き続き載せております。

これまで各自治会の皆さんから寄せられました要望等をすべて盛り込んだ内容にはなっておりませんが、事業については毎年見直しを行うとともに、過疎計画にとどまらず市の単独事業でも取り組むことができますので、できるだけ皆さんの要望が実現できるようにしたいと思います。

なお、今後予定しております地域ビジョンの策定におきましても、地域の課題を解決するための具体的な施策、事業を設定していきますのでビジョンの策定についても御協力を御願ひします。

以降資料に基づいて説明し、最後に各コミュニティセンターでの説会時に出された意見を報告した。

【協 議】

小田 委員 合併前の八幡町、平田町、松山町に共通する課題はないのか、あるとすれば連携をとって本計画に盛り込んでいただきたい。眺海の森についてはスキー場の整備だけではなく、年間を通して賑わいが生まれるような、全体的な見地から計画を立てられないか。歴史公園では、この地域ならではの特色ある計画を盛り込むべきである。どこにでもあるような計画では、いずれ淘汰されてしまう。また、未着手事業については、計画を全部成し遂げることは無理だと思いますが、目標として継続的に載せていくべきだと思います。そうしないと地域の進むべき方向性が定まらない。

地域振興課長 本地区は八幡、平田地区と違い、それ程中山間地域ではないと認識していますが、今までも共通課題として、人口の増加策や道路の整備といった社会資本の整備について連携して取組んできた経緯がある。また、本地区の特色ある計画は、歴史公園と周辺の整備及び眺海の森一帯の整備であると考えている。特にスキー場については東北唯一の人工スキー場があり、年間を通しての活用が見込まれる施設と捉えている。未着手の事業については、目標として掲げると

いうよりは、今後6年間のあいだに実現可能なものを優先的に計画に載せていくようにしなければ、市民の理解は得られないと思う。

木村 委員 私は中北目で寺を経営していて、最近人口が減少していることはとても身近に感じている。以前、寺の近くに住んでいた檀家が、今は半数以上住所が変わってしまった。大半が飛鳥、砂越、酒田市街近辺へ引っ越してしまった。飛鳥や砂越と中北目はそれ程離れている訳ではないのですが、何故か、向こうは住宅密集地になっている。この松山地区の素案では、人口の増加よりも集客に重点が置かれているような気がします、いかがなものでしょうか。

地域振興課長 基本的には定住人口の増加が重要と考えている。当地区には工業団地もあり、できることならば、この地に働く場を確保してもらいたい気持ちである。素案には農業、工業、商業の振興についても載せてあり、まずは産業の振興により定住人口の増加を推進していくものである。その上で交流人口の増加を図り、地域を活性化していきたいと考えている。

松山総合
支所長 過疎計画について考えていく場合、2つの大きな柱があると考えている。1つは若い人たちが、いかにこの地に定住できるか、もう1つは現在生活している人たちが継続して住み続けられるにはどうしたら良いのかを考える必要があると思っている。若い人たちが定着するには、産業の振興を図っていくほか、この地区の特色である歴史公園、眺海の森を整備して交流人口の増加を図ること。また、現在生活している方々の生活を守るためには、デマンドタクシー等による交通弱者への支援、診療所の機能を強化して健康面での不安をなくしたり、地域全体で福祉活動に取り組む施策を考えなくてはいけないと思っている。

この計画がすべてを網羅している訳ではないので、まだまだ皆さんから御意見をいただきたいと考えている。

今田 委員 人口減少に関係していると思いますが、道路整備はまだまだ不十分であると思う。満足できるのは山田1号線位ではないだろうか。平田の飛鳥あたりはどんどん道路事情が良くなっている。便利が良くなったから住宅も増えたと考えられる。松山地区は買い物に行くとしても、平田か庄内町に行く人が多く、自然と、そちらに住みたいと思うようになる。やはり、この地区に住み続けたいと思わせるには、住んでいる人に生活しやすいと思わせることが大事である。

これから高齢化社会になり、不便で1人で生活できなくなれば、ますます人はいなくなってしまう。生活する上での根本的な部分を考えてもらいたい。

佐藤（旭）
委員 素案の中で、当面の日常の課題として残されてきたものを取り上げることは良いことだと思う。しかし、計画の中でスキー場や歴史公園の整備といった件は、今までの利用状況はどうだったのか、整備することでどのような効果が見込めるのか、何も根拠が示されない中で説明されても判断できない。

今までも投資してきている訳なので、どう変わってきたのか示してもらいたい。投資だけして、どう変わったかわからないのでは問題がある。

また、それらを整備することにより、地域の人にとってどんな影響があるの

かも明確にしておかないと住民の理解は得にくいと思う。

先ほどの、プロジェクトを立ち上げて将来の松山地区の姿を計画するという話はとても良いことだと思う。酒田市の中の松山地区がどうなっていくのか、きちんと目標を立てて具体的な施策を進めていくことが重要であると思う。

長堀 委員 知り合いの話になりますが、母と二人暮らしで、母から医者に連れて行ってくれと頼まれたり、スーパーへ連れて行ってくれと言われても、休んで連れて行く訳にもいかないと嘆いている。近々家を建て替える予定でいるが、現状と自分の将来を考えると便利なところへ建て替えたいと言っている。こんなふうにして人口が減少していくのだと思う。やはり交通の便を良くすることが重要なことだと思う。デマンドタクシーはぜひ早く実現して、うまく運用してもらいたい。

遠田 委員 素案は、あらゆる部門を網羅しており、良くできていると思う。しかし、行財政状況をみれば、はたして6年間で実現可能なのは不安なところがある。地域からの様々な要望にきちんと優先順位をつけて、事業展開をしてもらいたい。

私は学童保育の設立に関わっているのので、現在の状況を少し説明します。来年度の開設に向けて、現在7名の希望者がいます。未だ、場所と指導員は決まっておりません。希望者が10名以上になると補助金も増えて運営が助かります。みなさんの知り合いに希望者がおりましたら、ぜひ紹介していただきたい。

市民福祉課長 現在7名の希望者がおり、保育場所は健康センター内だと考えている。センターに入っている団体からも概ね合意を得ている。

阿部 委員 今まで過疎債を使って投資してきたものにも無駄なものがあるのではないかと。眺海の森の施設にしても、例えばキャンプ場は、以前小学生を中心によく使ったものだが、熊騒動以降みるかげもなくなった。遊歩道にしてもバイクの遊び場になっていたり、今一度テコ入れが必要である。散策したり体を動かした後に、おいしい食事をして帰るとかの観光客の引き留めについて何も策がない。観光資源が無駄使いされている感じがする。今後6年間の投資にしてもきちんと効果があるのかどうか。現在は、スキー客にしても食事は別の場所で済ませて、あとはスキーをして帰ってしまいます。総体的にうまく回っていないのに部分的に良く回そうとしてもうまくいく訳がない。眺海の森へ行って、体を動かして、うまいものを食べて帰る。その回転がうまく回っていない、片方だけ投資してうまく回らないケースはいままでもかなりあった。これから6年間についても、また繰り返しにならないのか、周到な計画を立てなくてはいけない気がする。

地域振興課長 眺海の森に遊休施設は確かにある。受託者がいなくてそのままになっている等様々な問題を抱えている。素案では施設の整備と併せて管理運営についても連携がとれるようにする計画も載せてあり、部分的な手立てに終わらないようにするつもりである。

佐藤（洋子） 基幹産業である農業を活性化するとありますが、どのようにして活性化するか、また特産品の開発とはどのようなものを考えているのでしょうか。

建設産業課長 国の施策もめまぐるしく変わり、なかなか安定していないが、米については新品種も出てきているので期待したい。過去には本地域でもいろいろな品目に取り組んだ経緯はある。しかし、いずれも一時的なもので終わってしまった。今はおぼこ梅が注目されているが、絶対量が少ないことから、需要に応えられないでいる。特産品にするにはもっと生産量を拡大する必要がある。また、いろいろな機会を捉えて PR することも重要であることから、広報活動計画を今回の案に載せている。

佐藤（修） 補足しますが、おぼこ梅については農政対策推進協議会でも取り組んでいる。以前だったら捨てていた規格外品を、今は農工連へ結構良い価格で納入するようになった。ただ、収穫までに5年位かかるのがネックである。

小田 委員 住宅産業の件で商工会でまとめたものがあるので紹介したい。若者の定住について、若い人がどのような家を望んでいるか調査した結果がある。それによると今の若い人は従来の在来工法での建築ではなく、気密性の高い、冷暖房の整った快適な住宅を望んでいる。しかし、そういった住宅はほとんど工場生産で短期間で出来上がるものであり、ほとんど職人を必要としていない。そういったことから、地元の工務店はギリ貧状態であり、地元産材を使いましょうといっても地元の山の木はほとんど使わない状況であり、里山の保全にもつながっていない。また、そういった家屋は松山地区の景観にはなじまず、今後の景観形成にとっても課題が残る。買い物については今後調査するつもりですが、新庄余目高規格道路が完成すると、今まで本地区を通過していた車は、ほとんどそちらを通ることになる。国道345号沿いの商店は廃れるだろうし、地形的にみても松山地区はどンドン置いていかれる気がする。今後は川向かいとの交流が重要になってくると思う。特産品ですが商工会でも農工商連携で取り組んだ経緯があるが、開発当初は評判が良いものでも、それを持続させるのは難しいことである。県連合会には商品開発について専門家のアドバイスをしてくれる制度があるので、今利用しているところである。

佐藤（ゆき子） 2日前に松山と同じ城下町である鶴岡公園を散策する機会があった。そのときに酒田の泉学区の約50名位の人が介護予防講座で来ていた。松山地区にも同じような施設があるのに、何故鶴岡なのか、PR不足を強く感じた。素案の中にも観光施設の整備とか観光の振興などが取り上げられているが、PRすることも重要なことだと思う。それは、なにも行政だけでやるのではなく、地域住民も協力して、行政と一帯となって進めていくべきだと思う。集落の支援については、先ほどから高齢者の交通手段の問題が出てきてますが、昔の便利屋さんみたいな、気軽にものを頼める制度があっても良いのかなと思う。

今田 委員 買い物の件ですが、店に来いではなくて、店が個人の方へ出かける方法は無いものか。週1回でも集会所等へ出張販売も必要ではないだろうか。

地域振興課長 市議会でも買い物難民ということが出たことがあったが、松山地区においてはそんなに深刻であるとは認識していない。しかし、今後は検討しなくてはならない事項であるので、商工会等と相談して進めたい。

遠藤 委員 河川運動公園の草刈り問題は、今後管理団体との契約を見直し、しっかりやってもらいたい。スポ少の大会の開会式を多目的運動公園でやると、車が700台位集まるが、開会式が終わると一斉に各会場へ向かう車で地区内に交通渋滞が発生している。国道345号と多目的運動公園の位置関係がわかる大きな看板が必要である。現状では案内が非常に不十分である。

建設産業課長 河川運動公園の草刈りについては、竹田自治会の耕友会との契約になっている。基本的には年13回の草刈りになっている。草刈り時期について利用団体の希望とは必ずしも一致していない状況であり、現在協議をしている。多目的運動公園の渋滞については、大会時の監督会議で毎回話をしているとのことですが、徹底されていない状況である。看板は小さいものがあるが、見づらいものとなっている。もっと大きなものにできないか、現在本所の所管課と協議している。管理棟の内部の清掃については基本的に使用者責任である。

土田副会長 地域を良くしたいという気持ちがあっても、何らかの組織・団体に属していると、どうしても所属組織のために、批判したり悪いところを見つけることが多くなる。私は何にも所属していないので、組織・団体では動くことはないが、自分の趣味で所属している小さな団体はある。その中で松山地域の良いところをPRしている。知らないで批判的になるのではなく、今の松山の現状をもっと知って、自分の周りにPRすることも活性化につながると思う。小さなPRでも、また来たいと思えば、つながりが広がっていくものと思う。

佐藤（旭） 委員 新聞の地域欄をよく見ますが、酒田市の行事があまり載っていない。行事は結構やっているの、やはりPR下手なのだと思う。もっと新聞に出して他地区へPRしても良いと思う。

阿部 委員 誘客の方策ということで前から話はあったのですが、松山スキー場は、以前の改善計画では480mまで延長するという計画であった。県へ出向いたときに話しをしたら、ぜひ実現してほしいという話であった。実現していれば、国体選手の本格的な競技ができ、波及効果は計り知れないものであったと思う。

かつて松山はスキー競技のメッカであった。指導員がこれほどいるスキー場は庄内にはなかった。しかし、今は後発のスキー場に追いつかれてしまった。今の松山スキー場で特徴のあるものは人工スキー場しか残っていない。欲を言うと、もう50mほしい。すると250mになり、人工スキー場の大会ができるようになる。そうすれば県の強化指定選手が集まってくるようになる。あと、宿泊能力が少なく、高校の合宿では半端だと言われている。

地域振興課長 さんさんの年間稼働率から考えれば、夏の一時的な宿泊増のために増築するということはできないと考えている。既存の施設を有効に利用して対応していくことになる。

(2) 松山地区デマンドタクシー事業について

地域振興課長が資料2に基づいて説明を行う。

【説明概要】

導入方法：運営主体は酒田市が担い、運行業務は山形県ハイヤー協会酒田飽海地区協議会に委託する。

利用料金：乗車1回につき500円とする。ただし、3歳未満児については、保護者が同伴の場合に限り無料とする。

運行手法：松山地区から市街地拠点（4カ所）を結ぶ

拠点：日本海総合病院、酒田医療センター、中町、酒田駅前

運行時間：松山自宅→市街地拠点 午前8時、午前10時、午後1時

市街地拠点→松山自宅 午前11時、午後1時、午後3時

予約：利用登録が必要。予約は電話によりタクシー会社へ前日までに行う。

【協議】

佐々木会長 松山総合支所では停まらないのか。

地域振興課長 まだ、所管課である商工港湾課とのすり合わせが済んでいない。原則的には月、水、金曜日の運行で松山地区と市街地を結ぶものである。要望はしているが今後の課題である。

佐々木 会長 日本海病院まで行って、自分で中町まで行って、そこから帰りのデマンドに乗ることは可能なのか。

地域振興課長 予約時点で帰りを中町に設定しておくか、乗車1時間前までに、予約変更の連絡をタクシー会社にすれば良い。あくまでも予約で運行するものである。

佐藤（旭） 説明によれば松山地区から市街地4カ所という話であるが、松山診療所も高齢者を中心に利用者が多く、デマンドタクシーの利用は考えられないか。併せて、地区内での買い物をする場合はどうか。

地域振興課長 課題として捉えている。地区の要望として所管課と協議していく。

佐藤（ゆき子） 私は南部地区に住んでいますが、松山地区内の乗り降りという観点から、ぜひ役所関係で乗り降りできるようにしてもらいたい。役所に寄って、時間があれば買い物でもして帰ってくる事ができれば、たいへんありがたい。

新館 委員 例えば、帰りの時間は指定されているが、用事が早く終われば、その辺の時間は流動的でも良いのか。

地域振興課長 個人的に運行時間を指定するのは無理である。路線バスと違い、利用状況により時間が決まるものであり、個人の都合には合わせた運行とはならない。

佐々木会長 松山地区発の時間はどこを想定しているのか。

地域振興課長 市街地から最も遠い柏谷沢地区を出発地点と考えている。出発地点で利用者がいない場合は、タクシー会社で若干の時間調整はすると思う。あと、隣に乗る人は指定できない、誰と一緒に乗車するのかはわからない。

佐藤（ゆき子） 柏谷沢発が午前8時では、高齢者が乗り降りすることもあり、日本海病院の委員 予約にギリギリになる可能性がある、もう少し早くできないものか。

- 地域振興課長 全ての皆さんの都合の良い時間に運行することはできない。あくまでも標準的な時間設定となる。
- 佐藤（旭） 利用者が主に高齢者であることを考えると、特に帰りの時間が概ねの時間設定では乗り遅れる可能性がある。はっきり何時から何時の間と設定はできないのか。
- 松山総合 不特定多数の人が市内の医療機関を利用する場合に何時に設定したらいいのか、今回8時という時間を設定しましたが、これで良いのかは皆さんから御意見をいただきたい。また、逆に時間が決まった場合には診療機関の予約時間をデマンドに合わせていただかないと調整は難しい。また、帰りの時間を指定していただきたいとの話もありましたが、申し込み時に概ね何時台のデマンドを予約すると、タクシー会社から何時に迎えに行くと連絡が入るので、当日何時になるのかわからないということではない。
- 佐藤（ゆき子） 利用者が登録した段階で、登録証を発行してもらい、それを付けて待っても例えば運転手にわかりやすく、お互いに安心するのではないだろうか。
- 地域振興課長 当初検討した経緯はある。しかし、数年後には同じ場所に10数社のタクシーが出入りすることになる。同じような目印を持っていても効果があるのかは疑問が残る。今後の検討事項にしたい。
- 木村 委員 回数券等は検討されているのか。
- 地域振興課長 現在は検討されていない。高額になることと、紛失等の危険があるからです。
- 佐藤（修） デマンドが始まると既存の100円バスは廃止になるのか。
- 地域振興課長 廃止になる。
- 小田 委員 平田松山、松山八幡間にデマンドは成り立たないのか。
- 地域振興課長 成り立たないというより、現在のバスルートの代替えという考えである。なおかつ、交通弱者が医療機関を利用することを想定しているので、松山八幡間は想定していない。平田についてはデマンドが始まれば経由することになる。皆さんの要望がある影沢医院あたりでの停車は今後の課題である。平田地区と松山地区間のデマンドは考えていない。
- 小田 委員 松山地区から八幡病院へ入院している人もいる。医療福祉施設同士の移動も考えられる。そういう施設は専門の車を持っているが、家族は乗せてくれない。友人の車に乗せてもらって料金を払っているケースもみられる。白タク行為で違法ではないのか。
- 地域振興課長 平田地区、八幡地区間の運行は考えていない。あくまでも現在は各地区と市街地を結ぶものである。各地区間については、次の段階での検討になる。友人の車に乗せてもらって謝礼を支払うことはボランティア輸送ということであれば違法なことではない。
- 齋藤 委員 以前、需要に関してアンケートをとる話があったがどうなったのか。
- 地域振興課長 必ずしも利用希望者の声アンケート結果に反映されるということにはならない為、現段階ではアンケート調査は予定していない。現在運行している新

堀、広野地区の運行状況を参考にして計画を進めたい。

松山総合
支所長 今後、皆さんの御意見を聞きながら松山地区のデマンドタクシーについて検討していくことになる。最終的に決まった段階で地域の皆さんに説明に入る予定である。

佐藤（ゆき子）
委員 最終的に地域に説明に入るとのことですが、今現在の案について、地域の人
委員 に話しをしてもよろしいでしょうか。

松山総合
支所長 かまいません。それから、本日皆さんにお聞きしたいことは、運行日は週3日
支所長 日でよろしいのか、その曜日は月水金でよろしいのか、松山地区内で止まらなくてよいのか、
支所長 経由地の平田地区の医療機関で止まらなくてよいのか、週3日以外の日
支所長 に地区内だけの運行はしなくてよいのか、皆さんから御意見をいただきたい。

齋藤 委員 今、日本海病院では患者はほとんど予約制である。予約に合わせてデマンド
委員 を利用すればよい。

佐藤（旭）
委員 市内の拠点の4カ所は変えることはできないのか。こちらから要望すれば停
委員 まる場所は増えるのか。

地域振興課長 4カ所の拠点は変えられない。もっと途中で乗り降りできないかという話にな
地域振興課長 ると、本来の目的から外れるとともに、タクシー会社の本来業務を圧迫する
地域振興課長 ことにもなる。

木村 委員 平田の影沢医院については、特に内郷地区の通院者が多くいるので、ぜひ停
委員 めていただきたい。

地域振興課長 地域の要望として取り上げていく。ただし、料金の500円は変わらない。

遠田 委員 完全に予約制であるならば、月水金に限らず毎日運行できないものか。

地域振興課長 現在運行している100円バスの予算との兼ね合いである。現在の予算を超
地域振興課長 えない範囲で運行するとなると週3日にならざるを得ない。新堀、広野地区でも週3日
地域振興課長 であるので同じ体制で進むことになる。市街地への運行日以外の日で松山地区内
地域振興課長 での運行については御意見を伺いたい。

佐藤（ゆき子）
委員 今現在の100円バスの運行状況をみて決めても良いと思う。南部地区でも走
委員 っていますが、まず人は乗っていない。しばらく様子を見て、住民要望があっ
委員 てから検討してもよいのではないか。

松山総合
支所長 月、水、金曜日に運行するデマンドが松山地区内でも停まれるようにすること
支所長 も要望の1つである。いずれにしても、予約がなければ走らないのである。

新館 委員 先ほどから話がありましたが、支所で降りることは確定なのでしょう。

地域振興課長 現段階では確定的なものではない。地域の要望として取り上げていく。また、
地域振興課長 料金についても500円では高めであると認識している。

新館 委員 可能になったとしても、デマンドで支所まで来て、用事を済ませて買い物をし
新館 委員 たとしても、帰りの便まで待たなくてはならないことを考えると複雑な気持ちにな
新館 委員 る。地区内で2～3時間も時間を潰せない。

佐藤（旭） 山寺松嶺地区から診療所までの予約が大量に入った場合は、市街地までのデ

委員 マンドに影響するのか。

地域振興課長 人数の増加については、タクシー会社で全て対応することになっている。時間貸切なので、驚くような金額にはならない。

佐藤（旭） 松山地域内でのデマンド運行は、市街地へ行くデマンドとは別に考えた方が
委員 良いのではないか。私としては、地区内のデマンドもやってもらいたい。

小田 委員 そういうことは実際利用するであろう高齢者の方々に聞いた方が早いのではないか。我々免許を持っている人間とは観点が別である。

佐々木 会長 月、水、金曜日でも市街地までの予約が入っていなければ、地区内で完結する場合もあり得るのか。

地域振興課長 あり得ることです。

小田 委員 新堀、広野地区では始める前はどのような状況だったのか。

地域振興課長 元々バスを利用する人は少なかった。急激に増加するとは考えていなかったが、それにしても利用者は少ないものとなっている。開始前は老人クラブ等への説明をしてきているので、この地区でもそういう形になる。

阿部 委員 まずはやってみることだ。今からどうのこうの言っても始まらない。やってみて不都合なことは改善すれば良い。我々は利用者でないので仮定の話もできない。

松山総合 これから過疎計画もまとまってくるので、9月頃に第3回目の地域協議会を開
支所長 催したい。そのときに、もう少し整理して御意見を伺いたい。

佐々木委員 意見も出尽くしたようなのでこの辺でデマンドタクシー事業についての協議を終了します。次にその他で何かございますか。

委 員 なし

佐々木 会長 その他も無いようですので、これで終了します。最後に副会長から挨拶があります。

土田副会長 今日は、たくさんの意見を出していただきありがとうございました。これで第2回の松山地域協議会を終了します。ご苦労様でした。